



適正価格の制定と健全な利益率の構築

令和6年11月8日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

適正価格は、企業運営における努力とともに、適正な利益環境の構築を行う正しい企業の選択である。

これらが市場との正しい関係を与え、企業経営の適正化を実現できるのである。

市場判断は、全ての現実へ消費者がその選択と判断において経済は成り立つことを意味するものである。

これが経済は生き物であるという言葉の意味である。

企業経営の健全性という正しい企業要求は、経営の判断が現実を与えることを意味し、これら健全性は、公正さや、就業環境、企業風土の育成とともに、正しい企業構築を実現できるものである。

これが経営者に与えられた企業手腕と現実からの正しい選択と判断なのである。

これら需要の喚起は、製品の提供における適正さを要求し、それら正しいバランスの育成は、販売における適正化を構築できるのである。

また健全性に伴い利益の適正化は、給与環境や福利厚生 of 適正化を与え、これらが企業全体の雰囲気や環境を構築するのである。

これらが正しい企業サイクルの形成であることは正しいのである。また理解すべきは正しい企業サイクルは、正しい現実の創造を行うのである。

これが善という現実における企業経営と、その企業経営の健全性と倫理判断における、正しい企業構築というのである。

これらがより優れた就業環境とともに、企業経営における現実の育成と構築を実現できるのである。